

「馬印の氷砂糖」の販売につきまして、平素より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。
世界的な異常気象にもれなく、寒暖の激しい今日この頃です。それ

でも、確実に春の訪れは近く、梅便りが届く時期となりました。今年も冰糖シーズンに向け適宜青梅情報をお送り致しますので、販売の参考にして頂ければ幸いです。

和歌山の梅の状況

昨年末から数度の寒波は到来したものの、全体的には暖冬でした。開花は1月末からチラホラ始まり、2月16日現在、一部山間部を除いて満開を迎えています。昨年より約一週間遅く、ほぼ平年並みの進行状況です。開花終期の今月末までには、受粉を助けるミツバチが活動する目安の12℃以上の日も多くなりそうです。

着蓄数は前年比85%、平年比100%となっています。最終実が残るのは一割程度であり、過去のデータからも着蓄数と作柄にはあまり相関関係はありません。

今後、実を付ける3月末までには、遅霜、ヒョウ等の悪天候が心配されます。その後、生理落果を経て5月連休明けには作柄がほぼ確定し

ます。梅の出回り時期は例年通り5月下旬からになると思われます。

産地では大きな転換期を迎えています。数年来不安定であった梅干の需給バランスがぐずれ、供給過剰となっています。消費が減少する上に、一時敬遠された中国産も持ち直し、産地間競争が激化しています。農家の出荷値はピーク時の半値まで下がり、例年以上の在庫を抱えている状況です。決定的な打開策もなく、梅干の生産量をしばらく、おのずと青梅の出荷割合を増やさざるをえなく、農協では例年より多い販売を計画しています。今年作柄いかんを問わず、大量の青梅が出回ると考えられます。



〔今年〕2010年2月16日撮影(平野部)



(山間部)

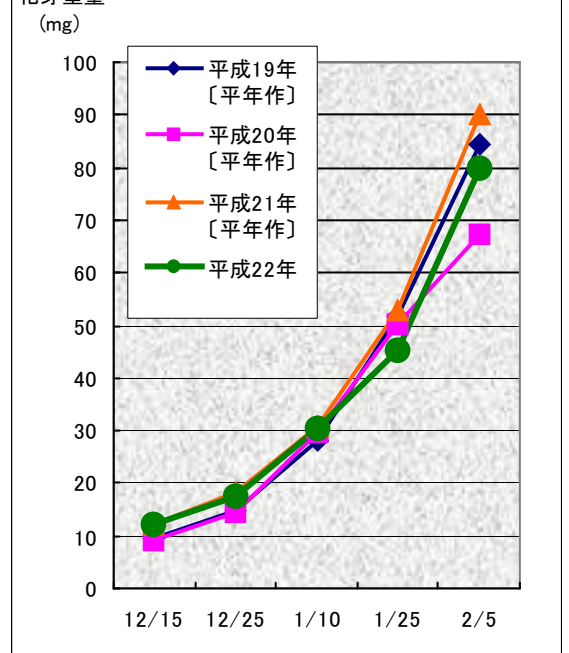


〔昨年〕2009年2月13日撮影(みなべ町)

青梅収穫情報判断の参考

年度	青梅収穫量 (t)	冰糖出荷高 (t)	気象情勢				満開時期		備考
			温暖○		寒冷◎		和歌山県	群馬県	
			1月	2月	3月	4月	2月	3月	
15年	88,300	16,670	◎	◎	○	◎	中旬	中旬	不作型
16年	113,700	16,013	◎	○	○	○	下旬	下旬	平年作型
17年	123,000	15,837	◎	◎	○	○	中旬	下旬	豊作型
18年	119,800	16,784	◎	◎	○	○	下旬	下旬	平年作型
19年	120,600	17,017	○	○	◎	○	中旬	中旬	平年作型
20年	121,000	16,999	◎	◎	○	○	中旬	下旬	平年作型
21年	115,200	17,982	○	○	○	○	初旬	中旬	平年作型
22年			○	○			中旬		

梅花芽伸長調査(村内平均)



※花芽重量80~90mgで開花

冰糖価格のお願い

既にご案内通り、原料の高騰により、5%の値上げをお願いしております。事情ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

また、量販店様売価につきましては、下記にてお願いしておりますので、ご参考にして下さい。

平成22年度一般量販店シーズン売価予想

	平成21年度	平成22年度
ロック	428円~468円	428円~478円
クリスタル	398円~448円	398円~458円

ホームページのご案内

<http://www.nakahyo.co.jp/>

今年も弊社ホームページにて南濃梅園の梅の生育状況を2週間毎にお知らせする予定です。ぜひ一度アクセスして頂き、冰糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。

何卒従来に増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。